



校長だより

日中丸



第11号
H30. 7. 11

日間賀中学校長
鈴木 康弘

※イラストは、本校生徒 宮地志奈さんが作成

遠泳大会 7.10(火)

東浜で1000mの遠泳に挑戦しました。この遠泳大会は、昭和62年から続いている本校の伝統ある行事です。苦しいことや苦手なことにも、歯を食いしばって粘り強く挑戦してほしいという願いのもと、行われています。当日は、23人の生徒が見事、完泳しました。途中リタイアしてしまった生徒も、ぎりぎりまでがんばりました。すてきな姿をたくさん見ることができた一日でした。

ご協力およびご声援をいただきました皆様、ありがとうございました。



朝会より 7.2(月)

生徒発表（7月のテーマ：部活動について）

宮地双葉さん（2年）

どの部も、もうすぐ郡大会があります。私たちバスケ部は、郡大会の初戦で青山中とあたります。青山中のバスケ部は、全体的に身長が高く、リバウンドが強いです。私は、バスケ部の中で身長が高い方なので、主にリバウンドやゴール下のシュートなどを練習しています。しかし、身長が高い人たちが一斉にリバウンドを取りにくると、さすがにかないません。だから、郡大会当日までには、リバウンドを取りにくいとき、誰よりも跳んで、リバウンドを取られないようにしていきたいと思っています。

また、バスケ部ではシザースという技を試合でよく使います。それは、センターの人が基準になって行う技なので、シザースを決めて、試合で使えるようにしたいです。

北川陽菜さん（3年）

私はもうすぐ部活動を引退します。今思うと、大変なことやつらいことはたくさんあったけれど、終わるのは早いと感じました。

郡大会まであと1か月をきりました。今できることは、みんなで声を出すことだと思いました。そして、今のメンバーみんなで全力でがんばりたいです。そのためには、3年生が引っぱっていかないといけないと思いました。だから、積極的に声を出したり、レイアップやフリースロー、スリーポイントのシュート率を高められるよう練習をたくさんしたりしたいです。

残りみんなで練習できる時間が少ないので、今できる時間を大切にして、悔いの残らない部活動をして、郡大会をがんばりたいです。

校長の話

こんな話をしました。

6月27日から29日までの3日間、3年生と一緒に修学旅行へ行ってきました。ディズニーランドでの班別行動や東京分散研修、浅草散策など、楽しい思い出をたくさんつくりたいと思います。2日目には離島キッチンというところでワークショップを行ったり、3日目には東京駅でPR活動を行ったりして、日間賀島のよさを再確認できたのではないのでしょうか。自分の考えを文字にしたり声に出したりすることで、考えがより深まり確かなものになります。その意味でも、今回のPR活動は、3年生にとって貴重な体験になったと思います。

また、PR活動の様子を見て、日間賀中学校の生徒は本当にこの日間賀島が好きなんだと感じ、うれしかったです。ここにいる全員で、日間賀島をもっともっと盛り上げていきたいなあと思いました。来週末には「ぎおん祭り」があります。さらに、8月には「たご祭り」があります。それぞれの場で、自分たちができる精一杯のことをがんばりましょう。期待しています。

朝会より 7.9(月)

生徒発表（7月のテーマ：部活動について）

鈴木杏奈さん（1年）

私には部活動でまだできていないことがあります。それは、声を出すことです。あいさつや練習中の声はまだ出ていないので、3年生や2年生の迷惑にならないように、しっかり声を出したいです。

そして、今、苦手なところをたくさん練習して、今よりもっと強くなりたいです。技術面も大切だけど、まずは、基本となることからしっかりしたいです。また、試合では勝つことも大切だけど、相手に対する態度や声をしっかりしていきたいです。

田中佑樹先生の話

こんな話をしてくれました。

みなさんは「応援の力」を信じますか？または、体感したことがありますか？私はこの時期になるといつも、自分が中学3年生だったころを思い出します。

郡大会バドミントンダブルス準決勝まで勝ち上がった私は、あるペアと対戦しました。そのペアはとなりの中学校のダブルスで、それまで全戦全敗、練習試合ですら勝ったことがありませんでした。しかし、最後の郡大会です。勝ったことがないとはいえ、負けるわけにはいきません。「絶対勝つ！」と強い気持ちで臨みました。1セットずつ取り、残るはファイナルゲーム。劣勢のまま相手がマッチポイントになってしまい、その瞬間、「ああ、やっぱり負けるんだ。もう勝てない。」と思ってしまいました。その時、どこからともなく、「まだ負けてない！がんばれ！」という声が聞こえました。観客席を見ると、負けてしまった同級生や卒業した先輩、後輩、家族、担任や学年の先生たちまで応援に来てくれたみんながこちらを向き、大声で「がんばれ！」と叫んでいたのです。その時、体の中心が熱く燃え上がるように感じ、「応援してくれる人のために、もう少しがんばってみよう！」と思えたのです。結果は、なんと逆転勝ちでした。それまで勝ったことのない相手に初めて、それも、郡大会という大舞台で勝ちました。

あのときの「がんばれ！」の一言がなかったら、諦めていただろうと思います。「応援の力」は実在するのです。これから郡大会を戦い抜くみんなには、応援してくれる人たちがいます。諦めそうになったら、その人たちのことを思い出してください。きっと、どこからかパワーが湧き出てきます。自分の仲間を応援することも忘れてはいけませんよ。「がんばれ！」の一言で、結果が大きく変わるかもしれないのです。

